

次世代太陽電池 設置事業者募る

沖縄CO₂削減推進協

脱炭素社会に向けた事業を推進する沖縄CO₂削減推進協議会（瑞慶覧長臣会長）は、次世代太陽電池ペロブスカイトの設置を希望する事業者を募集している。国の導入支援事業



フィルム型のペロブスカイトを手を持つ沖縄CO₂削減推進協議会の瑞慶覧長臣会長＝4月24日、南城市

経費の過半国補助

を使うと、必要経費の3分の2、4分の3が補助される。

ペロブスカイトは軽くて柔らかく、曲げることもできるのが特徴。これまで設置できなかった耐荷重の低い鉄板屋根や湾曲した場所にも設置できる。屋内や雨天・曇天でも発電可能で、シートの一部が影になってもパネル全体の発電には影響しない。償却年数も一般的に10年以上かかる従来のシリコン系に対し、5年程度という。

設置を希望する場所の状況や直近1年の電気料金の明細などから、設置可能なパネル枚数、発電量、現在の電力料金との比較などを確認し、正式に導入するか判断する。

補助金の申請や報告書の作成は協議会が支援する。

瑞慶覧会長は「ペロブスカイトは二酸化炭素削減の切り札になる。関心がある企業は早めに説明を聞いてほしい」と話した。問い合わせは同協議会、電話098（988）6301。（政経部・川野百合子）

は同様のスキームで十六フー整理も1件ずつあった。業